

第12回EASTS ホーチミン会議

The 12th EASTS Conference in Ho Chi Minh City, Vietnam

廣瀬 健¹ 毛利雄一² 岡 英紀³ 松本浩和⁴

By Takeshi HIROSE, Yuichi MOHRI, Hideki OKA and Hirokazu MATSUMOTO

1 はじめに

EASTS (Eastern Asia Society for Transportation Studies) は、交通計画、交通工学の分野に関わる研究を中心に取り扱った学会であり、隔年で国際会議を開催している。第12回EASTS国際会議は、2017年9月18日～21日の4日間にわたって、ベトナムのホーチミンで開催された。本稿では、国際会議の概要を紹介する。

2 EASTS

冒頭でも簡単に述べたが、EASTSは、交通計画、交通工学に関する分野を横断的に取り扱う国際学会であり、アジアにおける産官学の専門家が交通問題に関する議論、研究、人的交流を広く活性化させることを狙いとして、1994年に設立されたものである。これまでに、19の国あるいは地域が参画している。

EASTSでは、本体となる国際学会の他に、各国/各地域における独自の学会を設立することにより、各国/各地域間のネットワークを形成している。日本においては、1995年にEASTS - Japan (アジア交通学会) が設立され、国際会議やシンポジウム等を通じて、アジア地域の交通専門家と活発な情報交換を行っている。

EASTSの国際会議は、1995年の第1回マニラ会議以降、隔年で開催されており、アジア地域の大学研究者だけでなく、行政や実務も含めた交通専門家の学術交流や情報交換の場となっている。

3 EASTS ホーチミン会議

第12回EASTSホーチミン会議においては、“Safe, Green and Integrated Transport”をテーマとして、アジア・太平洋地域から530本の論文が発表された。

基調講演では、EASTSの会長である屋井鉄雄教

表-1 EASTS参画国/地域¹⁾

参画国/地域名		
オーストラリア	ラオス	シンガポール
カンボジア	マレーシア	スリランカ
中国	モンゴル	台湾
香港	ミャンマー	タイ
インドネシア	ネパール	ベトナム
日本	ニュージーランド	
韓国	フィリピン	(計19地域)

(出典:EASTSのHPの情報から作成)

表-2 EASTS国際会議の開催都市¹⁾

回数	開催年	開催都市
第1回	1995年	マニラ (フィリピン)
第2回	1997年	ソウル (韓国)
第3回	1999年	台北 (台湾)
第4回	2001年	ハノイ (ベトナム)
第5回	2003年	福岡 (日本)
第6回	2005年	バンコク (タイ)
第7回	2007年	大連 (中国)
第8回	2009年	スラバヤ (インドネシア)
第9回	2011年	済州 (韓国)
第10回	2013年	台北 (台湾)
第11回	2015年	セブ (フィリピン)
第12回	2017年	ホーチミン (ベトナム)

(出典:EASTSのHPの情報から作成)

授による“Expanding Asia Strategies for Trans-Areal Sustainability: EASTS”、ベトナム運輸副大臣のNguyen Ngoc Dong氏による“Vietnam’s Vision and Actions Plan for Safe, Green and Integrated Transport Systems”、UBER社のEmilie Potvin氏による“Future of Urban Mobility in the Industrial Revolution 4.0”の3つの講演が行われた。

その後、3日間にわたって口頭発表セッション、ポスターセッション、スペシャルセッションが行われた。2日目の午前中には、“Safe, Green and Integrated Transport Systems for Asian Cities”をトピックにした総会が、4日目には、3種類のテーマ

¹交通・社会経済部門 研究助手 ²業務執行理事、研究本部長兼企画室長 博士(工学) ³交通・社会経済部門 グループマネジャー
⁴都市地域・環境部門 グループマネジャー 博士(工学)



写真-1 基調講演の様子

表-3 ホーチミン会議におけるトピックス

トピック	セッション
交通一般	アジア特有の課題、調査とデータ収集、交通と自然災害、自然災害と復旧、歴史研究
交通の経済と政策	プライシング、事業評価、マルチモーダル交通政策、持続可能な交通政策、新たな運輸業（カーシェアリング/相乗り/バイクシェアリング/パーソナルモビリティ）
交通需要分析と予測	交通行動分析、交通需要モデリングと予測、ネットワーク分析と交通量配分
物流と貨物輸送	物流と貨物輸送政策、国際・地域間物流、物流ビジネスにおける運営と管理
地域の計画と環境	都市・地域計画、土地利用と空間分析、交通と環境、TDM/モビリティマネジメント
公共交通とインモータライズド交通	都市間鉄道、都市鉄道・LRT・ガイドウェイ交通、バス・BRT、パラトランジット、歩行者・自転車、駅・停留所施設
道路のデザインと維持管理	舗装、道路維持管理
道路交通工学	運転操作と運転者のモデリング、交通流分析、高速道路の容量とサービス水準、交通と信号制御、自動二輪車、ITS、新技術（C-ITS、自動運転、IoT）
交通事故と交通安全	事故分析、運転挙動と安全、安全対策評価
航空と水上交通	航空/水上交通政策、航空/水上交通の運営と管理
実践的トピック	政策・計画・管理、制度・組織・財源 等

(出典:第12回EASTSプログラムより作成)

表-4 本研究所職員の発表論文

投稿者	テーマ
毛利、岡 ※共著	Trial Proposals of Advanced Traffic Management on Tokyo Metropolitan Urban Expressway Rings
廣瀬 ※共著	A Study on Potential Demand for Shopping Support Services

のテクニカルツアーが開催された。

ホーチミン会議のトピックは表-3の通り、その内容は極めて多岐に渡るが、アジア地域の交通における課題としては、依然として交通安全への関心が高いように見受けられた。これに加えて、公共交通施策の実施方法や運用に対する関心や、自然災害の対策方法への関心が非常に高まっているように感じた。

当研究所からは、毛利理事、岡主任研究員が首都圏三環状概成時を想定した交通流変化の予測を踏まえた将来の望ましい交通需要マネジメント施策について検討した論文を、廣瀬研究員が買い物弱者の買い物支援策に対する潜在需要を分析した論文を発表し、松本主任研究員が事務局として会議の運営に奔走した。

4 おわりに

EASTSの国際会議を通して、アジアにおける交通問題が極めて多様であると感じると同時に、問題として起きている事象が同じように見受けられても、その実、要因は全く異なる可能性があることを改めて認識することとなった。国や地域によって交通問題は様々であるが、各国の専門家たちは背景とする文化が異なっても問題に対する共通の認識を有しているように見受けられた。アジア地域、延いては世界中で起きている深刻な交通問題に対応するためには、国境や組織の枠を超えて、研究、実務の情報交換を継続して実施していくことが重要であると考えます。

2019年の第13回EASTS国際会議は、スリランカで開催される予定である（詳細については、2018年10月に発表予定とされている）。

参考文献

- 1) EASTS, <http://www.easts.info/>